

ひとのあいだ

2025年7月15日

備前市立日生中学校

「ひとのあいだ」は、日生中学校の様子(学校・生徒の取り組み)を知っていただき、ご家庭と連携・協働していくため、そして〈地域と共にある学校〉の取組の一環として随時お届けします。

多文化共生社会の中で ～ようこそ日生中学校へ～

備前市国際交流事業での日生中学校訪問(あさって！7/17)

〈二年生が、国語『漢詩』と一緒に学びます〉

○備前市と保定市曲陽県と

備前焼との縁で、曲陽県と「平等互恵の相互尊重の原則に基づき、友好関係を促進し、他分野における交流と協力を深める」と協定書を結んでいます。この趣旨に基づき市が初の交流として、曲陽永寧中学の生徒10人がホームスティシ、閑谷学校や海ラボや陶芸センター等を訪ねて研修します。

○曲陽県ってどこ？

中華人民共和国河北省保定市曲陽県は、北京の南西220kmに位置する人口約55万人（2006年）の都市です。

○曲陽永寧中学って中学生？

国営の主要中学校で、2013年に開校し、高校1・2・3年生の生徒は4,300人以上です。（現在、曲陽永寧中学のホームページは、2013年時点となっています。）

中国の学校制度は、日本と同じ6-3-3-4生ですが、一部地域では5-4-3-4制になっています。曲陽永寧中学は初級中学4年、高級中学3年制を採用しています。今回来日する生徒は、16・17歳なので高級中学生です。

○国際交流について

日本はたくさんの外国人と共生しているので、多文化交流は、増えています。本校でも新しく3名のALTと共に英語をもとに、コミュニケーション能力を高め多様な文化を理解する取組を進めています。今回は、同じアジア州の、同世代の若者と話をする大切な機会にしたいと思います。

備前市は子ども達が外国人や外国文化等に興味・関心を高める一助して、海外との国際交流事業を進めています。

チャンスがあれば海外研修へ参加するの
もよいかもしれ
ません。

○中国の生徒に っては？ 日本の生徒



と質問し合うだけでも生徒には新鮮だそうです。

例えば書道は、字はあまり上手じゃない子もいるらしいですが、漢文に精通しているそうです。授業を通じて一緒に語り合うことで、豊かな中国文化の一端に触れることができると思います。

○多文化共生社会の中で

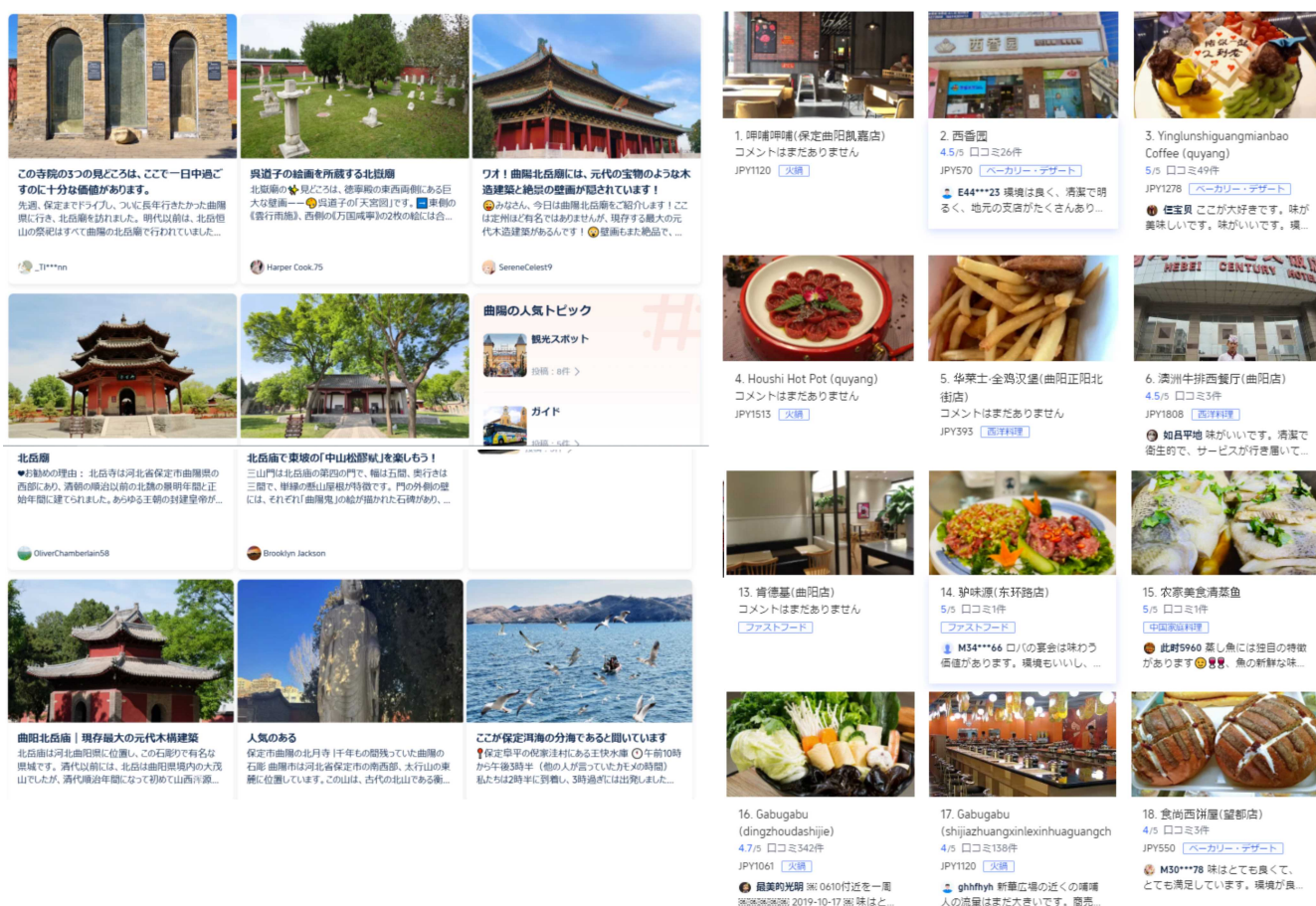
国際情勢や政治情勢は、決して安定しているわけではありません。数年前の韓国による日本バッシングによる関係悪化や、中国による海洋進出など、国家間の問題は山積しています。

しかし、その中で、日生は、日生町の時代から続く韓国蔚山広域市との長年にわたる交流を続けて、人と人のつながりを保ち続け、交流を続けています。

今回、中国曲陽県の同世代の若者たちとの交流でも、国による価値観の違いや、育ってきた環境、好きなことや夢を知り合う、わかり合う時間を国語科の授業で行いたいと思います。

○少しだけインターネットで検索してみました。

曲陽県（キョクヨウケン）は、中国河北省保定市に位置する県で、美味しいグルメが豊富です。特に、餃子や麺、豆腐料理、肉料理などが人気です。また、地元の市場では新鮮な果物や野菜も購入できます。[Trip.com](#)によれば、ファストフードや中華料理、四川料理、湖北料理など、様々なジャンルのレストランがあります。[Agoda.com](#)によれば、曲陽のグルメを楽しむことは、旅行の醍醐味の一つです。[じゃらんnet](#)によれば



知ること・学ぶこと・出会いを大切に。